気

- 臓腑や器官を動かす原動力
- 原気・宗気・営気・衛気などの種類がある

・気機(昇・降・出・入)

- ・その他の気
- ①臓腑の気 ②正気 ③邪気 ④精気 ⑤清気 ⑥濁気
- ⑦経絡の気 ⑧胃気

先天の気	・先天の精から化生
後天の気	・後天の精から化生 飲食物(水穀)を 脾胃の機能で消化吸収 →後天の精(水穀の精微) →後天の気(水穀の気)

証

気虚

(陽虚)

気陥

気鬱く気滞

気逆

気脱

気

0

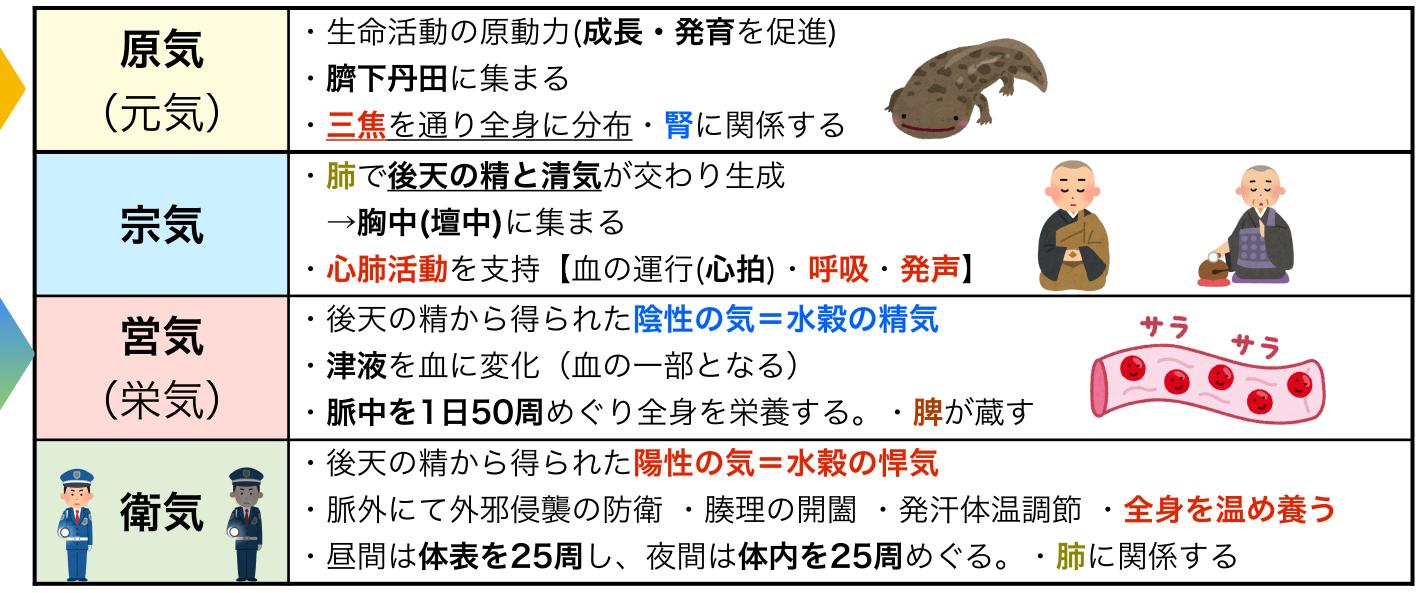
病

理

虚

症

症



微)	(栄気)		0周 めぐり全身を栄養する。・ 脾 が蔵す	用	防御	
)	衛気	・脈外にて外見	ら得られた 陽性の気=水穀の悍気 邪侵襲の防衛 ・腠理の開闔 ・発汗体温調節 ・ 全身を温め養う を 25周 し、夜間は 体内を25周 めぐる。・ 肺 に関係する		気化	
原因			症状			
・栄養不足・大病・過労・長期臥床・自汗・息切れ・倦怠感・懶言・易感冒・出血傾向・眩暈・					脈弱	
・慢性気虚・陽気不足・気虚+冷え			・寒がり・手足冷え・頻尿・軟便・下痢・顔色白・ <mark>脈遅 ※温煦作用</mark> ↓			
・慢性気虚・多産・産後不養生		養生	・内臓下垂(胃下垂、脱肛、子宮脱)・慢性下痢・軟便 ※脾の昇	早清 ↓		
・極限気虚・極度の過労・大量出血や嘔吐・意識喪失・顔面蒼白・四肢の冷え・強い自汗・呼吸困難						
・軽度or過剰な情志の変化・邪気の影響・ <mark>脹痛</mark> ・胸悶・胸脇部痛・腹部膨満感・抑鬱感						
・情志の失調・邪気の影響 【易熱			【易怒・頭痛・眩暈】【咳嗽・喘息・多痰】【嘔吐・噫気・吃逆】	※上	昇気機の過剰	

気

作

推動

温煦

固摂